

■主要指標の動き■ 2024年8月9日時点(1週間前=8月2日、3ヵ月前=5月9日、6ヵ月前=2月9日、1年前=2023年8月9日) なお、休場の場合は直前の営業日のデータを使用

世界	指標	騰落率(%)					
		先週末	週間	3ヵ月	6ヵ月	1年	23年末比
世界	世界株価 注1	424.54	0.0	1.4	6.2	16.6	9.4
	先進国株価 注2	10,854.86	▲0.0	1.4	6.0	17.6	9.8
	先進国(除く日本)株価 注3	12,549.34	0.1	1.7	6.4	18.1	10.3
	新興国株価 注4	564.62	0.3	1.1	8.7	8.2	5.8
日本	日経平均株価	35,025.00	▲2.5	▲8.0	▲5.1	8.8	4.7
	JPX日経インデックス400	22,768.26	▲2.1	▲7.7	▲1.4	10.3	6.5
	TOPIX(東証株価指数)	2,483.30	▲2.1	▲8.5	▲2.9	8.8	4.9
	東証プライム市場指数	1,278.03	▲2.1	▲8.5	▲2.9	8.8	5.0
	東証スタンダード市場指数	1,165.38	▲1.7	▲7.0	▲4.9	4.2	▲0.3
米国	NYダウ工業株30種	39,497.54	▲0.6	0.3	2.1	12.5	4.8
	S&P 500種	5,344.16	▲0.0	2.5	6.3	19.6	12.0
	ナスダック総合	16,745.30	▲0.2	2.4	4.7	22.2	11.6
	ナスダック100	18,513.10	0.4	2.2	3.1	22.6	10.0
	フィラデルフィア半導体	4,709.45	2.2	▲1.1	3.1	30.4	12.8
欧州	欧州 ストックス・ヨーロッパ600	499.19	0.3	▲3.4	3.0	8.4	4.2
	英国 FTSE100	8,168.10	▲0.1	▲2.5	7.9	7.7	5.6
	ユーロ圏 ユーロ・ストックス	483.50	0.6	▲7.2	▲0.4	6.0	2.0
	ドイツ DAX	17,722.88	0.3	▲5.2	4.7	11.8	5.8
アジア・オセアニア	中国 CSI300	3,331.63	▲1.6	▲9.1	▲1.0	▲16.0	▲2.9
	中国 上海A株	2,999.89	▲1.5	▲9.3	▲0.1	▲11.8	▲3.8
	中国 深圳A株	1,625.04	▲1.8	▲13.5	▲1.5	▲23.8	▲15.5
	中国 創業板	1,595.64	▲2.6	▲16.0	▲7.6	▲28.4	▲15.6
	香港 ハンセン	17,090.23	0.9	▲7.8	8.5	▲11.2	0.3
	台湾 加権	21,469.00	▲0.8	4.4	18.6	27.3	19.7
	韓国 KOSPI	2,588.43	▲3.3	▲4.6	▲1.2	▲0.6	▲2.5
	シンガポール ST	3,261.83	▲3.5	▲0.1	3.9	▲1.6	0.7
	タイ SET	1,297.07	▲1.2	▲5.3	▲6.6	▲15.1	▲8.4
	インドネシア ジャカルタ総合	7,257.00	▲0.7	2.4	0.3	5.6	▲0.2
その他	フィリピン 総合	6,647.80	0.6	1.6	▲3.0	1.8	3.1
	ベトナム VN	1,223.64	▲1.0	▲2.0	2.1	▲0.8	8.3
	インド SENSEX	79,705.91	▲1.6	10.1	11.3	20.8	10.3
	豪州 S&P/ASX200	7,777.70	▲2.1	0.7	1.7	6.0	2.5

中 南 米 其 他	指標	騰落率(%)					
		先週末	週間	3ヵ月	6ヵ月	1年	23年末比
中 南 米	ブラジル ボベスバ	130,614.59	3.8	1.9	2.0	10.3	▲2.7
	メキシコ IPC	53,051.54	1.5	▲8.3	▲7.5	▲2.2	▲7.6
其 他	トルコイスタンブール100	9,907.38	▲5.4	▲3.5	9.5	30.3	32.6
	南アフリカ FTSE/JSEアフリカ全株	80,739.31	0.2	4.1	10.0	5.1	5.0
	エジプト EGX30	28,750.82	▲2.1	10.6	1.2	61.9	15.5
債券	日本国債 注5	331.90	0.6	▲0.2	▲2.1	▲3.9	▲2.9
	先進国(除く日本)国債 注6	1,005.26	▲0.4	3.8	3.8	5.2	1.0
	新興国債券 注7	796.61	0.1	3.1	6.8	11.5	5.2
	日本国債2年物	0.292	-0.116	-0.017	0.179	0.279	0.239
	日本国債10年物	0.853	-0.097	-0.065	0.127	0.269	0.239
	日本国債20年物	1.693	-0.028	0.005	0.174	0.445	0.304
	日本国債30年物	2.071	-0.006	0.092	0.273	0.544	0.438
利回り*	米国債2年物	4.055	0.173	-0.761	-0.427	-0.755	-0.196
	米国債10年物	3.941	0.150	-0.513	-0.235	-0.072	0.061
	ドイツ国債2年物	2.386	0.034	-0.552	-0.330	-0.576	-0.018
	ドイツ国債10年物	2.225	0.051	-0.270	-0.157	-0.272	0.201
	イタリア国債10年物	3.643	0.012	-0.194	-0.323	-0.504	-0.057
	スペイン国債10年物	3.085	0.023	-0.202	-0.284	-0.443	0.092
	東証REIT(配当込み)	4,203.78	0.1	▲6.3	▲1.7	▲5.9	▲4.1
	グローバル (米ドルベース)	707.78	0.4	8.7	9.5	12.8	5.0
	REIT指数注8(ヘッジなし 円ベース)	797.88	0.3	2.4	7.5	15.1	9.2
	香港REIT 注9	519.22	4.4	4.6	▲4.3	▲12.0	▲16.9
オーストラリアREIT 注9	1,190.66	▲1.9	2.9	9.8	27.3	13.5	
商品など	北海ブレント原油先物	79.66	3.7	▲5.0	▲3.1	▲9.0	3.4
	WTI原油先物	76.84	4.5	▲3.1	0.0	▲9.0	7.2
	ニューヨーク金先物	2,473.40	0.1	5.7	21.3	26.8	19.4
	CRB指数	275.96	2.2	▲4.8	0.6	▲2.2	4.6
	シンガポール鉄鉱石先物	101.09	▲2.6	▲12.7	▲20.2	▲0.3	▲27.8
	S&P MLPトータルリターン指数	8,428.28	▲1.0	▲1.0	10.7	24.4	14.1
	S&P BDCトータルリターン指数	388.80	▲1.6	▲4.3	4.9	11.8	4.9
	ビットコイン	60,776.95	▲2.8	▲3.0	27.8	106.1	43.0

*「利回り」変化のデータは、騰落率(%)ではなく、騰落幅
 注8 グローバルREIT指数 : S&PグローバルREIT指数(トータルリターン)
 注9 香港/オーストラリアREIT指数 : S&Pの各地域/国REIT指数(トータルリターン、現地通貨ベース)

北 米	為替(米ドル・インデックスを除き、対円)	騰落率(%)					
		先週末	週間	3ヵ月	6ヵ月	1年	23年末比
北 米	米ドル・インデックス	103.14	▲0.1	▲2.0	▲0.9	0.6	1.8
	米ドル	146.61	0.1	▲5.7	▲1.8	2.0	3.9
	カナダ・ドル	106.80	1.1	▲6.1	▲3.7	▲0.3	0.4
欧州	ユーロ	160.00	0.1	▲4.6	▲0.6	1.4	2.7
	英ポンド	187.11	▲0.4	▲3.9	▲0.8	2.4	4.2
	スイス・フラン	169.46	▲0.7	▲1.2	▲0.7	3.4	1.1
	スウェーデン・クローナ	13.92	0.4	▲2.8	▲2.4	3.4	▲0.4
	アイスランド・クローネ	1,059	▲0.3	▲5.0	▲2.4	▲3.1	2.1
	ノルウェー・クローネ	13.57	1.4	▲5.3	▲4.1	▲3.7	▲2.1
	デンマーク・クローネ	21.45	0.1	▲4.6	▲0.7	1.3	2.7
アジア・オセアニア	中国人民幣元	20.46	0.2	▲4.9	▲1.4	2.5	3.0
	香港ドル	18.80	0.2	▲5.5	▲1.5	2.3	4.1
	台湾ドル	4.53	1.3	▲5.6	▲4.9	0.1	▲1.9
	韓国ウォン(100ウォン当たり)	10.74	▲0.3	▲5.3	▲4.1	▲1.7	▲1.5
	シンガポール・ドル	110.79	0.3	▲3.6	▲0.1	3.8	3.7
	マレーシア・リンギ	33.28	0.5	1.2	6.1	6.2	7.7
	タイ・バーツ	4.16	0.2	▲1.7	0.1	1.5	1.4
	インドネシア・ルピア(100ルピア当たり)	0.921	1.8	▲5.0	▲3.6	▲2.7	0.5
	フィリピン・ペソ	2,570	1.9	▲5.4	▲3.9	0.8	0.6
	ベトナムドン(100ドン当たり)	0.584	0.5	▲4.5	▲4.5	▲3.6	▲0.1
中 南 米	インド・ルピー	1.75	▲0.2	▲6.2	▲2.9	0.7	2.6
	オーストラリア・ドル	96.35	1.0	▲6.4	▲1.1	2.7	0.3
	ニュージーランド・ドル	87.96	0.7	▲6.2	▲4.2	1.1	▲1.3
	ブラジル・レアル	26.64	3.8	▲12.0	▲11.6	▲9.1	▲8.3
	メキシコ・ペソ	7.78	1.9	▲16.0	▲10.9	▲7.6	▲6.3
	コロンビア・ペソ(100ペソ当たり)	3.60	1.6	▲9.8	▲5.4	0.8	▲1.0
	チリ・ペソ(100ペソ当たり)	15.72	2.2	▲6.4	2.2	▲5.7	▲1.8
東 欧	ペルー・ヌエボ・ソール	39.24	0.1	▲6.8	1.6	0.9	3.1
	ロシア・ルーブル	1.65	▲3.7	▲1.5	1.0	11.4	5.0
	ポーランド・ズロチ	37.04	▲0.6	▲5.2	▲0.5	4.9	3.4
	ハンガリー・フォリント(100フォリント当たり)	40.60	1.0	▲6.0	▲2.4	0.1	▲0.0
	ルーマニア・レイ	32.16	0.1	▲4.6	▲0.6	0.8	2.8
其 他	トルコリラ	4.37	▲0.9	▲9.2	▲10.1	▲17.7	▲8.8
	南アフリカ・ランド	8.00	▲0.3	▲5.0	1.9	5.6	3.8
エジプト・ポンド	2.98	▲1.1	▲9.4	▲37.0	▲36.0	▲34.8	

(騰落率がプラスの場合は各通貨高、マイナス▲の場合は円高)

※右表の為替レートは原則としてニューヨークの17時時点のものであり、弊社投資信託の基準価額の算定に用いられるものと大きく異なることがあります。また、ビットコインのデータもニューヨーク17時時点です。指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、当該指数の算出元または公表元に帰属します。データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

注1 世界株価指数 : MSCIオルカンワールド・インデックス(米ドルベース、ネットトータルリターン)
 注2 先進国株価指数 : MSCIワールド・インデックス(米ドルベース、ネットトータルリターン)
 注3 先進国(除く日本)株価指数 : MSCI-KOKUSAIインデックス(米ドルベース、ネットトータルリターン)
 注4 新興国株価指数 : MSCIEマージング・マーケット・インデックス(米ドルベース、ネットトータルリターン)
 注5 日本国債指数 : FTSE日本国債インデックス(円ベース)
 注6 先進国(除く日本)国債指数 : FTSE世界国債インデックス(除く日本、米ドルベース)
 注7 新興国債券指数 : JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス(ヘッジなし 米ドルベース)

当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目録見書)をご覧ください。

先週の主な出来事 (株式市場での反応を○、△、×の順で評価)

日付	市場の反応	国・地域	指標など(コメント)
			円相場が一時、141円68銭近辺まで上昇
	×	アジア	外国為替市場で円高が進み、日本時間の15時過ぎに一時、1ドル=141円68銭前後と、1月上旬以来の円高・ドル安水準となった。日本の株式相場は、米国景気の先行き懸念や円高の加速を受けて大幅統落し、日経平均株価で前日比▲12.4%と、1987年10月のブラックマンデー翌日の▲14.9%に次ぐ、過去2番目の下落率となった。投資家のリスク回避の動きを受け、10年国債利回りは0.750%と、4月初め以来の低い水準となった。なお、韓国や台湾でも主要株価指数が8%超下げるなど、アジアの株式相場は全面安となった。
8月5日(月)	△	世界	イランがイスラエルへの報復を示唆するも、全面戦争は避けたい意向を示す イスラム組織ハマスの最高指導者が7月末に訪問先のイランで暗殺されたことを巡り、イランの外務省報道官やイラン革命防衛隊の司令官がイスラエルに対する報復を示唆した。ただし、同報道官は中東の緊張をエスカレートさせることは望んでいないとも述べ、全面戦争を避けたい意向を示唆した。原油先物は、米景気の悪化懸念などから統落した。また、金先物も、持ち高調整や利益確定の売りなどから統落した。
	△	米国	ISM非製造業景況指数は予想を上回り、50を上回る 7月のISM(供給管理協会)非製造業景況指数は前月比+2.6ポイントの51.4と、好・不調の境目の50や予想を上回った。欧米の国債は、利下げ観測などを背景に買いが先行し、利回りが一時、米2年債で3.65%台、同10年債で3.66%台と、それぞれ、2023年5月、同年6月以来の水準に低下した。しかし、ISM非製造業景況指数が発表されると、欧州では上昇に転じて引け、米国ではほぼ横ばいとなった。欧米株式相場は、米国景気の先行き懸念を背景に大幅統落となった。また、円相場は144円台に下落した。
	△	日本	実質賃金、賞与の伸びなどを背景に2年3か月ぶりに増加 6月の実質賃金は前年同月比+1.1%と、予想に反して、2022年3月以来の増加に転じた。賞与などの特別給与の大幅増加が寄与した。株式市場では、前日の株価急落に伴ない、自律反発狙いの買いが入ったほか、円相場が一時、146円台をつけるなど、円安が好感されたこともあり、相場が反発し、日経平均株価は前日比+10.2%と、歴代4位の上昇率を記録した。国債利回りは、国債入札の結果が振るわなかった影響もあり、上昇した。なお、台湾や韓国の株式相場も大幅反発となった。
6日(火)	○	米国	景気後退懸念が和らぐ シカゴやサンフランシスコの地区連銀総裁が、前週末に発表された7月の雇用統計は予想より低調だったが、景気後退の様相はまだ呈していないとの見解を前日に相次いで示したほか、景気後退を回避すべく、利下げが必要と述べた。また、民主党の大統領候補を選出する投票が前日に締め切られ、ハリス副大統領が同候補に正式に指名されることが確定した。6日には、同氏が副大統領候補にミネソタ州のウォルズ知事を選んだと発表した。景気後退懸念は行き過ぎとの見方や、持ち高調整の国債売りなどもあり、国債利回りが上昇した。株式市場では、自律反発狙いの買いが優勢となり、ハイテク株や景気敏感株などを中心に相場が反発した。なお、欧州では、国債利回り、株式相場ともマチマチだった。
7日(水)	○	日本	日銀の内田副総裁、金融資本市場が不安定な状況では利上げせず 日銀の内田副総裁が講演し、「金融資本市場が不安定な状況で利上げをすることはない」[当面、現在の水準で金融緩和をしっかりと続けていく必要がある]と述べた。追加利上げ観測が後退したことから、中長期債を中心に国債利回りが低下し、一時、2年債で0.24%台と、4月以来の低い水準となった。また、円相場は下落し、147円前後で推移した。株式市場では、金融株のほか、好決算や自社株買い等を発表した銘柄なども買われ、相場が続伸した。

7日(水)	△	中国	輸出の伸びは予想外の鈍化、輸入は予想以上に増加、中銀は公開市場操作を見送り 7月の貿易統計(ドルベース)が発表され、輸出が前年同月比+7.0%と、予想に反して前月から伸びが鈍化した一方、輸入は+7.2%と、増加に転じ、予想も上回った。また、中国人民銀行(中央銀行)は、前月下旬に主要金利を相次いで引き下げたことなどに伴ない、流動性の総量は潤沢だとして、2020年以来初めて、金融市場に短期資金を供給する公開市場操作を見送った。中国本土株式は小動き、マチマチとなったが、香港を含むその他のアジア市場では、前日の米株高などを受け、株価が上昇した。なお、欧州では、投資家心理が改善し、国債が売られた一方、株式相場は銀行株などを中心に続伸した。
	×	米国	10年物国債入札が低調に終わり、国債利回りが上昇、株価は下落 10年物国債の入札が低調な結果となった。持ち高調整の国債売りなどもあり、長期債を中心に国債利回りが上昇した。株式相場は、買い先行で始まったが、長期金利が上昇すると、ハイテク株などを中心に下落に転じて引けた。また、米週間統計で原油在庫が予想以上に減少したことを受け、原油先物が買われた。なお、8日の日本では、前日の米株安を受け、先物主導で株式相場が反落したほか、円相場は145円台に反発した。
8日(木)	○	米国	新規失業保険申請件数が予想を上回る減少となり、労働市場への懸念が和らぐ 3日までの週の新規失業保険申請件数が前週比▲1.7万件的23.3万件と、予想を上回る減少(改善)となった。労働市場や景気に対する過度の懸念が後退したほか、30年物国債の入札が低調だったこともあり、国債利回りが上昇した。株式市場では、景気敏感株や大型ハイテク株などが買われ、主要3指数が揃って反発した。外国為替市場ではドルが買われ、円相場は147円台に下落した。また、イスラエルの国防相が、レバノンに拠点を置く親イスラム武装勢力ヒズボラが攻撃を続けられ、イスラエルは全力で戦うと述べ、中東での地政学リスクへの警戒が高まったことなどもあり、原油や金の先物が買われた。
9日(金)	×	中国	消費者物価指数の伸びは全体では加速も、コアでは鈍化 7月の消費者物価指数は前年同月比+0.5%と、前月の伸びや予想を上回ったが、コアでは+0.4%と、1月以来の低い伸びとなった。中国本土株式は下落したが、前日の米株高の影響などから、香港を含むその他のアジア市場では株価が続伸した。また、欧米では、国債利回りがやや低下、株式相場は上昇した。外国為替市場では、円相場が146円台に上昇した。また、原油や金の先物は続伸した。

今週の主な注目点 (高:注目度大、中:注目度中、低:ご参考)

日付	注目度	国・地域	指標など(コメント)
14日(水)	高	米国	7月の消費者物価指数 6月は、全体で前年同月比+3.0%、コアでは+3.3%だった。7月はそれぞれ、+3.0%、+3.2%と見込まれている。
15日(木)	高	米国	7月の小売売上高 6月は、全体で前月比横ばい、コアでは+0.9%だった。7月の予想はそれぞれ、+0.4%、+0.1%となっている。
16日(金)	高	米国	8月のミシガン大学消費者信頼感指数速報 7月は66.4だった。8月は66.9と予想されている。
	高		7月の住宅着工件数 6月は、住宅着工件数が年率135.3万戸、建設許可件数は144.6万戸だった。7月の予想はそれぞれ、133.5万戸、142.5万戸となっている。

上記のほか、米国では、8月のニューヨーク連銀製造業景気指数およびフィラデルフィア連銀景気指数、7月の鉱工業生産(15日)が発表されるほか、地区連銀総裁の講演が予定されている。また、日本の4-6月期のGDP速報や中国の7月の主要指標が15日に発表される。

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)